

令和4（2022）年度大学間協定に基づく交換留学 （授業料免除）派遣学生第3次募集要項

このことについて、下記のとおり募集します。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により派遣先大学から交換留学生の受入について変更する可能性があると同時に、学生のみなさまを安全に派遣できない状況が続いたときは、派遣を中止または中断せざるをえない可能性もあります。

記

1 対象

本学に在籍している正規の学部生または大学院生のうち、学業成績が優れ、健康で、かつ学習意欲のある者で、単位取得を目指す者。

2 派遣先・派遣人数

派遣先は大学間協定に基づく協定校です。授業料免除対象となる派遣人数は協定学生数以内となります。（P5参照）

3 派遣期間

2022年8月から2023年4月の間に留学を開始します。期間は半年以上1年以内。
（派遣先大学の学年歴・カリキュラム等により決定します。）

4 経費

大学間協定により授業料は不徴収です。授業料以外の雑費・宿舍費・生活費等及び渡航費等は自己負担となります。ただし、大学によっては授業料不徴収で受講できる授業・単位数に制限があり、それを越えた場合、その分の授業料は自己負担になります。

5 応募資格について

「1 対象」に記載した者で次の①かつ②の要件を満たす者が応募できます。

① 応募時点での累積 GPA 値が2.0以上であること（大学院生においては学部時の成績）

② 交換留学のための語学能力の基準を満たす者

勉学生活が可能で現地語能力、または TOEFL iBT42 以上、TOEFL ITP(団体受験)440 以上、TOEIC L&R/TOEIC S&W1150 以上、TOEIC L&R 550 以上、英検準1級以上または IELTS4.0 以上の英語能力（CEFR B1 以上に相当）

※現段階で②を満たさない学生、また交換留学を考えている外国人留学生は国際交流課へ相談ください。（「9その他（11）問合せ先」参照）

6 応募方法及び申込先

応募書類：①派遣希望調書

②成績通知書

③語学検定試験の成績証明の写し

④指導教員の所見

※応募書類に不備、疑義等ありましたら国際交流課から確認のご連絡をいたします。

調書入手先：国際連携推進機構HP 留学の流れ「Ⅱ. 応募/選考面接」

<https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/student/flow-to-study-abroad/>



申 込 先：国際交流課国際交流推進係（静岡） [共通教育A棟4F]

浜松学生支援課留学生係（浜松）

申 込 期 限：令和4年2月17日（木） 17：00厳守

7 語学能力について

別紙「令和4年度（2022年）派遣協定校交換留学のための語学能力の基準」参照

【重要】

本要件を学内応募時点で満たしていない場合も申請することができますが、2022年3月31日（木）までに満たせなかった場合は選考の対象外とします。

* 語学留学であっても、派遣先大学とのメールのやりとりや手続き等が可能な現地語能力または英語能力が必要です。

* 希望する派遣国・大学で、「大学間協定協定に基づく交換留学派遣先」（P5）及び別紙に記載のないものについては直接国際交流課に問い合わせてください。

* 語学基準は各大学の決定により変更される場合がありますので、派遣先決定後も語学スコアの向上に取り組んでください。

8 選考方法と派遣先の決定

書類及び面接により選考を行った後、所定の手続きを経て、派遣先大学からの入学許可が得られることにより最終決定となります。

面接日：令和4年2月24日（木） 選考結果発表日：令和4年3月8日（火）以降

9 その他

- (1) 派遣希望調書の「国際交流委員会委員氏名、確認印」の欄には、所属学部の国際交流委員等の署名・押印が必要です。委員等の先生方へは、事前に電話かメールでアポイントメントを取ってから訪問してください。なお、諸事情により応募期限までに署名・押印をいただけない場合は、委員にメールで了解を得てください。そのメール文は、印刷して他の応募書類と一緒に提出してください。

【令和3年度国際交流委員等】

| 学 部 名 | 教 員 名 | 連 絡 先 |
|-----------|--------------|--|
| 人文社会科学部 | 鈴木 実佳 | (054-238-4955 suzuki.mika@shizuoka.ac.jp) |
| 教 育 学 部 | ヤマモト・ルシア・エミコ | (054-238-4242 yamamoto.lucia.emiko@shizuoka.ac.jp) |
| 情 報 学 部 | 堀内 裕晃 | (053-478-1548 horiuchi@inf.shizuoka.ac.jp) |
| 理 学 部 | 弓削 達郎 | (054-238-4740 yuge.tatsuro@shizuoka.ac.jp) |
| 工 学 部 | 宮崎 さおり | (053-478-1634 miyazaki.saori@shizuoka.ac.jp) |
| 農 学 部 | 王 権 | (054-238-3683 wang.quan@shizuoka.ac.jp) |
| 地域創造学環 | 河合 学 | (054-238-4995 kawai.manabu@shizuoka.ac.jp) |
| 創造科学技術大学院 | 岩田 太 | (054-478-1072 iwata.futoshi@shizuoka.ac.jp) |
| 光医工学研究科 | 青木 徹 | (054-478-1321 aoki.toru@shizuoka.ac.jp) |

- (2) 本件に関する連絡事項は、原則として申請書に記載したメール宛に連絡するので通知を見逃さないでください。また、返信が必要な場合は速やかに返信してください。
- (3) 本選考合格後に派遣先大学を変更することは、原則認めません。
- (4) 国際交流課が実施する交換留学ガイダンス（複数回）及び海外渡航危機管理ガイダンスは必ず参加してください。
- (5) 「6 応募方法及び申込先」に記載した国際連携推進機構HP「留学の流れ」を参考に、留学に際して発生する本学、留学先、査証申請等の手続は自らの責任により行ってください。

- (6) 受入決定後、犯罪・トラブル等不測の事態に備えるため、留学中は賠償責任付きの海外旅行保険及び日本エージェンシーアシスタンス株式会社が提供する OSSMA Plus (Overseas Students Safety Management Assistance Plus) に必ず加入してください。OSSMA のサービスについては以下のページを参照してください。

国際連携推進機構HP 海外留学前の手続き 「OSSMA について」

<https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/student/procedures-before-studying-abroad/>



- (7) 留学先大学の都合により大学寮が確保されない可能性があります。その場合、国際交流課のサポートのもとご自身で住居を探し契約することになります。
- (8) 帰国後は留学経験者として本学の留学推進活動に可能な限り協力願います。
- (9) 留学中の学籍は「留学」または「休学」となります。主な違いは以下のとおりです。いずれの手続きも所属学部の学務係等で行ってください。

【休学】

留学中は静岡大学及び派遣先大学へ授業料を納める必要はありません。ただし、留学期間が卒業年数に含まれませんので、卒業が半年または1年遅れます。

【留学】

留学中は静岡大学へ授業料を納める必要があります。留学期間が卒業年数に含まれますので、留学前後にできるだけ所要単位を修得し、かつ留学中に取得した単位を認定されることにより4年間（大学院生は2年または3年）での卒業も可能です。

- (10) 単位の認定及びCAP制の緩和について

i) 単位の認定

留学前研修の参加や報告書の提出、留学報告等所定の基準を満たした場合には、帰国後に全学教育科目・学際科目の「海外交換留学プログラムⅠ・Ⅱ」の単位認定（1学期：2単位、2学期：4単位）を受けることができます。さらに派遣先で取得した単位は、内容やレベル、時間数などが静岡大学で開講されている科目と同等であると認められた場合、**全学教育科目または学部専門科目の単位として認定することができます**。必ずしも取得した単位が認定されるわけではありませんので、認定を希望する場合は、留学前に所属学部の学務係及び指導教員等へ相談してください。

ii) CAP制の緩和

学部等の教務委員会が留学などの正当な理由があると認めた場合及び直前学期のGPA値によっては、履修登録単位数の上限を超えて個別に定められた単位数を取得することができます。詳細については所属学部の学務係等までご確認ください。

(11) 問合せ先

国際交流課 国際交流推進係 [共通教育A棟4F (静岡)]

電話：054-238-4457 Eメール：outbound@adb.shizuoka.ac.jp

(12) Facebookフォロー等のお願い

海外留学を目指す学生のみなさんのために専用のフェイスブックを開設いたしました。このページでは静岡大学が提供する留学プログラム、留学に関するイベント及び必要な情報を随時更新しています。海外留学に興味がある方はぜひフォロー等していただき、学習計画のお役に立つことができましたら幸いです。

静岡大学海外留学情報URL：<https://www.facebook.com/su.outbound/>



大学間協定協定に基づく交換留学派遣先及び協定学生数（令和4年1月現在）

※協定学生数は派遣先大学との調整により、必ずしも一覧表にある人数が本学から派遣されるとは限りません。

| 国名 | 大学名 | 協定学生数 | 国名 | 大学名 | 協定学生数 |
|--------|---------------------|-------------------|---------|-----------------|-------------------|
| アメリカ | ネブラスカ大学オマハ校 | 4 募集終了 | マレーシア | マレーシアプトラ大学 | 2 |
| カナダ | アルバータ大学 | 若干名 募集終了 | マレーシア | マラヤ大学 | 2 |
| 中国 | 浙江大学 | 3 2 | フィリピン | マリアノ・マルコス州立大学 | 3 |
| 中国 | 南京大学 | 3 2 | インド | アンナ大学 | 3 |
| 中国 | 華中科技大学 | 5 | インド | 刈・ラマナー・メリアル大学 | 3 |
| 中国 | 中国科学院新疆生態地理研究所 | 3 | インド | インド工科大学ハイデラバード校 | 3 |
| 中国 | 中国科学院プラスマ物理研究所 | 3 | インド | 国立薬科教育研究所 | 3 |
| 韓国 | 釜山大学校 | 3 | バングラデシュ | バングラデシュ農業大学 | 3 |
| 韓国 | 朝鮮大学校 | 3 | スリランカ | ペラデニア大学 | 3 |
| 韓国 | 慶北大学校 | 3 2 | ドイツ | ヴッパータール大学 | 5 2 |
| 韓国 | 嶺南大学校 | 3 | ドイツ | イエナ応用科学大学 | 3 |
| 韓国 | 忠南大学校 | 3 | ドイツ | ブラウンシュバイク工科大学 | 3 募集終了 |
| 台湾 | 台北科技大学 | 2 1 | フランス | ロレーヌ大学 | 3 2 |
| タイ | カセサート大学 | 3 | フランス | トロワ工科大学 | 1 募集終了 |
| タイ | タマサート大学 | 3 | スロバキア | コメニウス大学 | 4 1 |
| タイ | チェンマイ大学 | 2 | チェコ | マサリク大学 | 2 募集終了 |
| タイ | キンモンクット工科大学トンブリ校 | 3 | ハンガリー | ブダペスト工科経済大学 | 3 |
| タイ | キンモンクット工科大学ラカバン校 | 3 | ハンガリー | オブダ大学 | 2 |
| タイ | シーナカリンウィロート大学 | 3 | モルドバ | モルドバ国立大学 | 2 |
| ベトナム | ノンラム大学 | 2 | ルーマニア | アルクシール・イソ・ク大学 | 5 3 |
| ベトナム | フエ大学 | 3 | ルーマニア | ヤシ農業科学獣医科大学 | 2 |
| ベトナム | ハノイ国家大学外国語大学 | 2 | ポーランド | ワルシャワ工科大学 | 4 |
| インドネシア | インドネシア大学 | 3 | ベラルーシ | ゴメルステート大学 | 5 |
| インドネシア | ガジャマダ大学 | 若干名 | ラトビア | リガ工科大学 | 2 1 |
| インドネシア | インドネシア教育大学 | 3 | ブルガリア | ソフィア大学 | 3 2 |
| インドネシア | バンドン工科大学 | 若干名 | リトアニア | カウナス工科大学 | 2 |
| インドネシア | マチュン大学 | 2 | ウクライナ | キエフ国立大学 | 2 |
| マレーシア | テイラーズ大学 | 2 1 | ウクライナ | ウクライナ国立技術大学 | 2 |
| マレーシア | トゥン・フセイン・ボン・マレーシア大学 | 2 | ロシア | サクトペテルブルク国立工業大学 | 2 |
| マレーシア | マレーシア工科大学 | 3 | | | |